

吉野ヶ里メガソーラー設置事業の概要



平成25年9月4日
佐賀県新エネルギー課

太陽光王国・佐賀の実現

- 11年連続日本一の普及率を誇る住宅用太陽光発電のほか、事業所用やメガソーラーの普及に積極的に取組み、「太陽光王国・佐賀」の実現を目指します。
- メガソーラーについては、まずは「吉野ヶ里メガソーラー」を太陽光発電の象徴的な施設として事業を推進し、再生可能エネルギーの加速度的な普及を図ります。

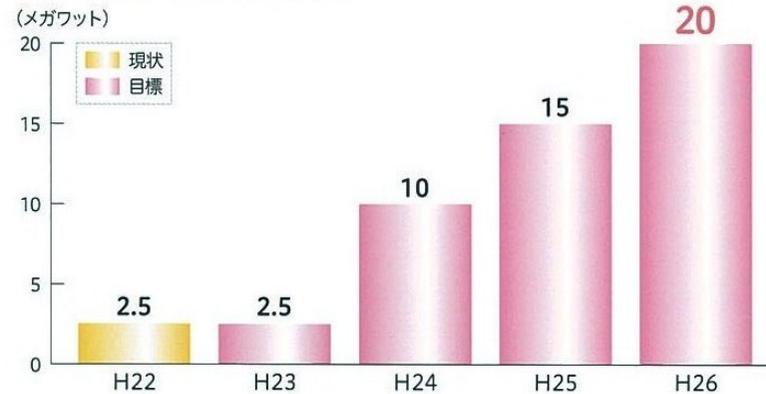


【佐賀県新総合計画2011】

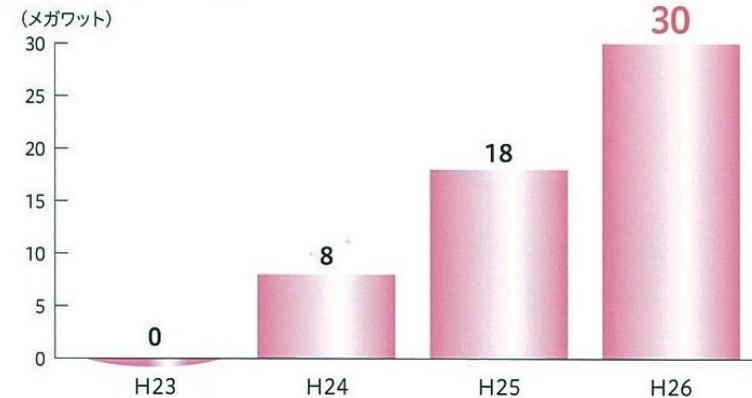
■ 住宅用太陽光発電の設置件数



■ 事業所用太陽光発電の設置



■ メガソーラーの設置



吉野ヶ里メガソーラー概要

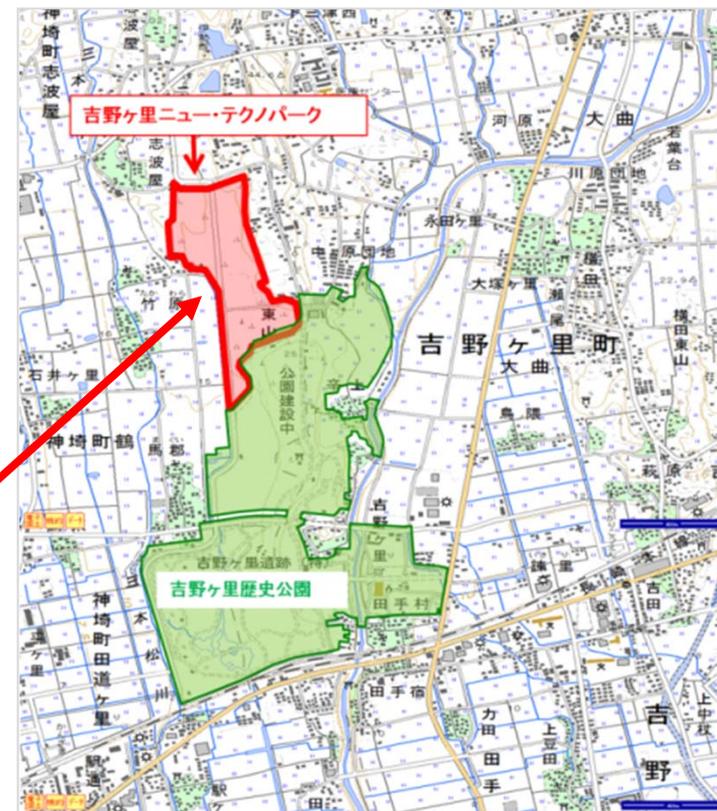
所在地	吉野ヶ里ニュー・テクノパーク跡地 (佐賀県神埼市神埼町志波屋)
敷地面積	25.6ha
パネル 設置面積	16.35ha
設置運営	NTTグループ・佐賀県企業等連合体 (NTTファシリティーズ、NTT西日本、 戸上電機、佐賀銀行、佐賀大学)
土地 リース料	年額100円/m ²
出力規模 (概算)	約12メガワット (約12,000kw)
推定発電 量	約1,285万kwh/年 (一般家庭約3,600世帯の消費電力量 に相当)
発電開始	平成25年7月
事業期間	20年間 (国が定める固定価格買取期間)
景観配慮	パネルの高さは1.3m 施設の周辺には植栽を施す

メガソーラーとは

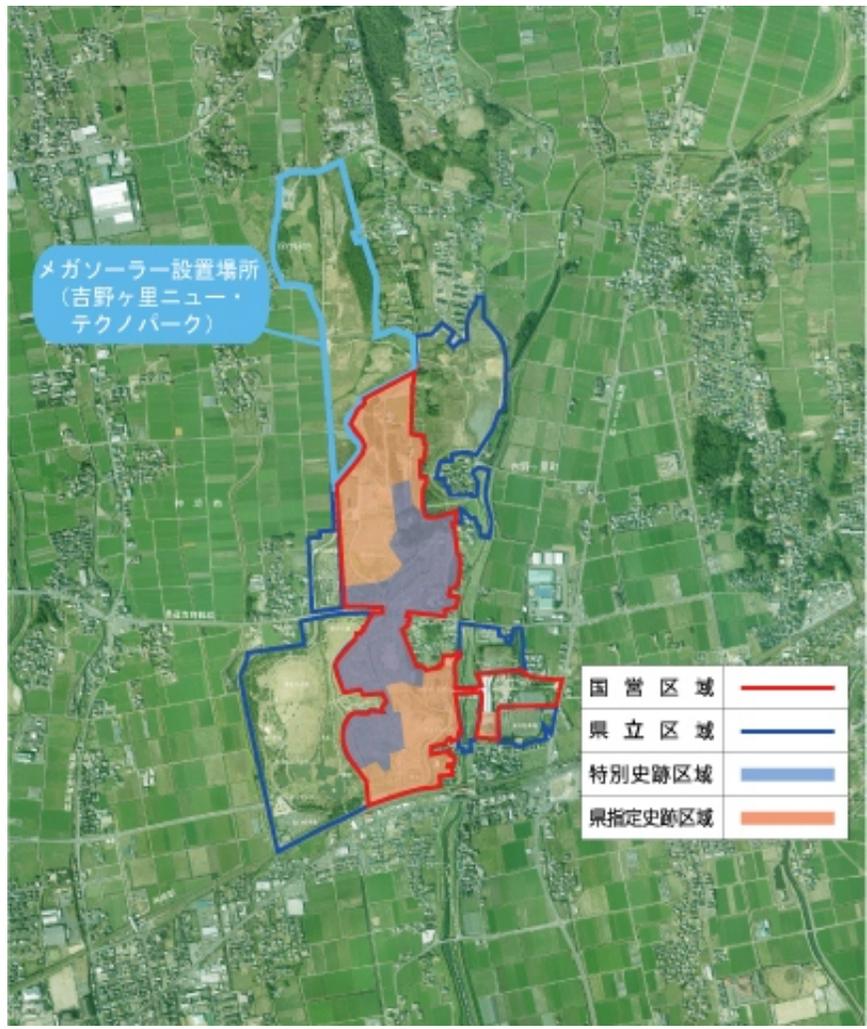
- 太陽電池パネルを敷き詰めた大規模太陽光発電所のうち、一般家庭300世帯分をまかなえる出力1,000kw以上のものをいう。
- 広い土地を必要とし、天候により発電量が左右されるが、二酸化炭素を排出しない再生可能エネルギーとして普及が期待されている。
- メガソーラーは構造がシンプルで建設期間が比較的短いため、加速度的な普及を図るうえで有効とされる。



吉野ヶ里ニュー・テクノパーク跡地位置図

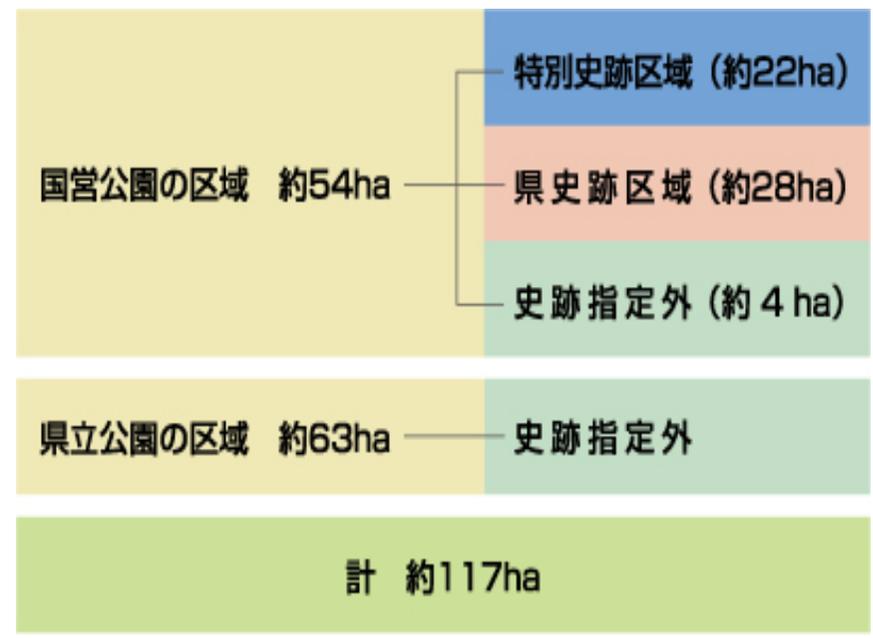


吉野ヶ里歴史公園の史跡区域



吉野ヶ里歴史公園 (117ha)

- ・ 特別史跡指定区域と佐賀県史跡指定区域を含む国営公園区域 (約54ha)
- ・ 国営公園区域を補完、保護し周辺の自然景観と一体となった整備を行う県立公園区域 (約63ha)

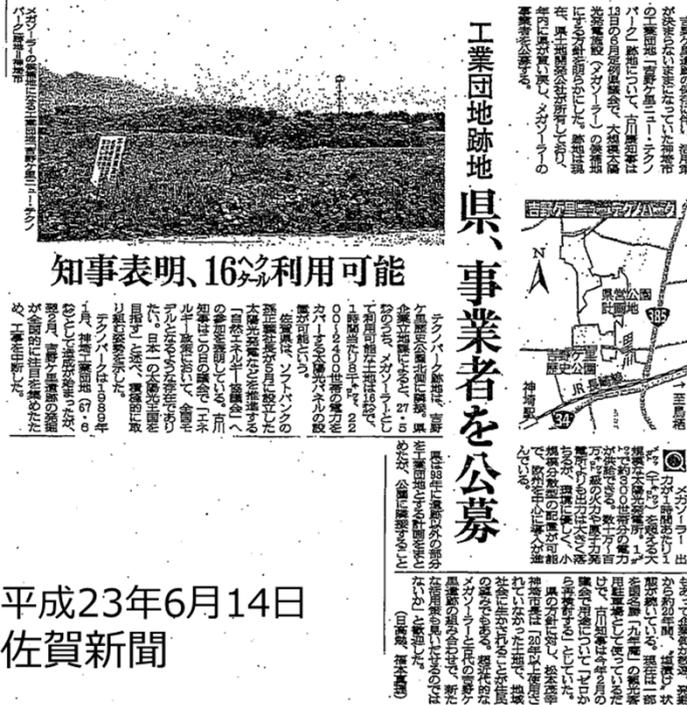


吉野ヶ里ニュー・テクノパークのこれまで経緯

- ・ 昭和60年7月 神埼工業団地基本計画策定、用地買収開始
- ・ 平成元年2月 国内最大級の環濠集落発見の全国報道
- ・ 平成元年3月 神埼工業団地造成工事中断
- ・ 平成4年10月 国営吉野ヶ里歴史公園が閣議決定
- ・ 平成5年9月 吉野ヶ里ニュー・テクノパーク構想（多目的産業団地）発表
＜これ以降、文化財保護団体による反対運動＞
- ・ 平成7年10月 国営吉野ヶ里歴史公園工事着手
- ・ 平成13年4月 吉野ヶ里歴史公園一部開園
- ・ 平成13年9月 県議会で知事答弁「他用途への転用を考えていく必要がある」
- ・ 平成14年7月 吉野ヶ里NTP利活用策検討委員会（経済部）の設置
- ・ 平成15年 吉野ヶ里NTP跡地整備検討委員会（県土づくり本部）の設置
- ・ 平成17年8月 公園整備等には多大な経費を要し、緊プロ期間中のため現状利用
- ・ 平成23年2月 県議会で知事答弁「県庁の組織をあげて、まったくゼロからの議論を行う」
- ・ 平成23年3月 東日本大震災。福島原発事故発生。
- ・ 平成23年6月 県議会で知事演告「メガソーラーについては、まずは吉野ヶ里ニュー・テクノパーク跡地の利活用策として検討し、今回メガソーラー設置の候補地として進めていく」
- ・ 平成23年9月 県議会で知事演告「吉野ヶ里ニュー・テクノパーク跡地を佐賀県土地開発公社から取得し、メガソーラー用地として整備する」

メガソーラー候補地に決定した理由

メガソーラー候補に神崎市



平成23年6月14日
佐賀新聞

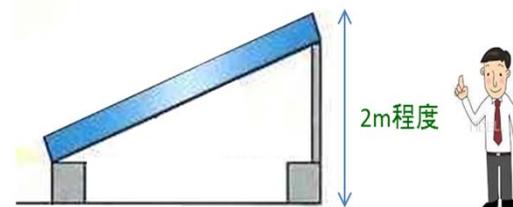
- 平成5年吉野ヶ里ニュー・テクノパー構想を発表して以来、既に20年近くが経過。
- 企業からの引き合いはあったものの立地には至らず、これまでの経過を踏まえると、今後も工業団地としての利用は見込めない。
- 公共工事の残土置き場などに利用されている現状のままでは、景観上も好ましくないことから、地元からも早期解決を望まれていた。
- この土地は、県からの開発要請により県土地開発公社が取得したものであり、このまま公社に保有させておくわけにはいかず、いずれは県が買い戻さなければならなかった。

- 地元神崎市等からの意見も踏まえて議論を行い、平坦かつ広い土地で、周囲に日陰を作る障害物がないことや、メガソーラーは永久工作物ではなく、深い杭を打たずに事業終了後は更地に戻すことを前提とすることなどから、候補地に決定。
- また、パネルの高さを低く抑えて、周囲に樹木植栽を施すなど吉野ヶ里歴史公園や周辺の景観に配慮する計画とした。

歴史公園や周辺の景観への配慮

吉野ヶ里遺跡は、我が国最大規模の貴重な環濠集落跡であり、そのことも踏まえながら「吉野ヶ里メガソーラー設置事業」を進めてきました。

- ①パネルは、神埼工業団地造成時に埋蔵文化財の発掘調査による記録保存措置（文化財保護法）を全て終えている「**記録保存区域**」に設置する
⇒このことについて県教委への協議を完了（H24.1.31 教社文第3908号）
- ②埋蔵文化財が濃密な部分（西側の一部）は、事業用地として使用せずに「**保存緑地**」として管理する
- ③架台設置工事については、以下のような措置を事業者を求める
 - ・記録保存文化財にも影響が少ないよう、基礎工事はパイル等で深く掘り下げない
 - ・周辺の景観にも配慮するため、パネルの高さも低く抑える
- ④県においても、歴史公園や周辺景観に配慮するため、周囲に樹木植栽を行う



波及効果

吉野ヶ里メガソーラーの設置により、以下のような波及効果が見込まれます。

① 県・事業者による県内投資

- 県施工の「用地造成」「植栽・外構工事」等の県内業者への発注
- 事業者施工の「架台」「パネル設置」「変電設備工事」等の県内業者への発注配慮

② メガソーラー事業による収入

- 佐賀県：事業者からの土地リース料、法人事業税、法人県民税
- 神崎市：法人市民税、固定資産税（パネル等償却資産）
除草作業等の地元への業務委託

③ エネルギー関連産業の立地促進

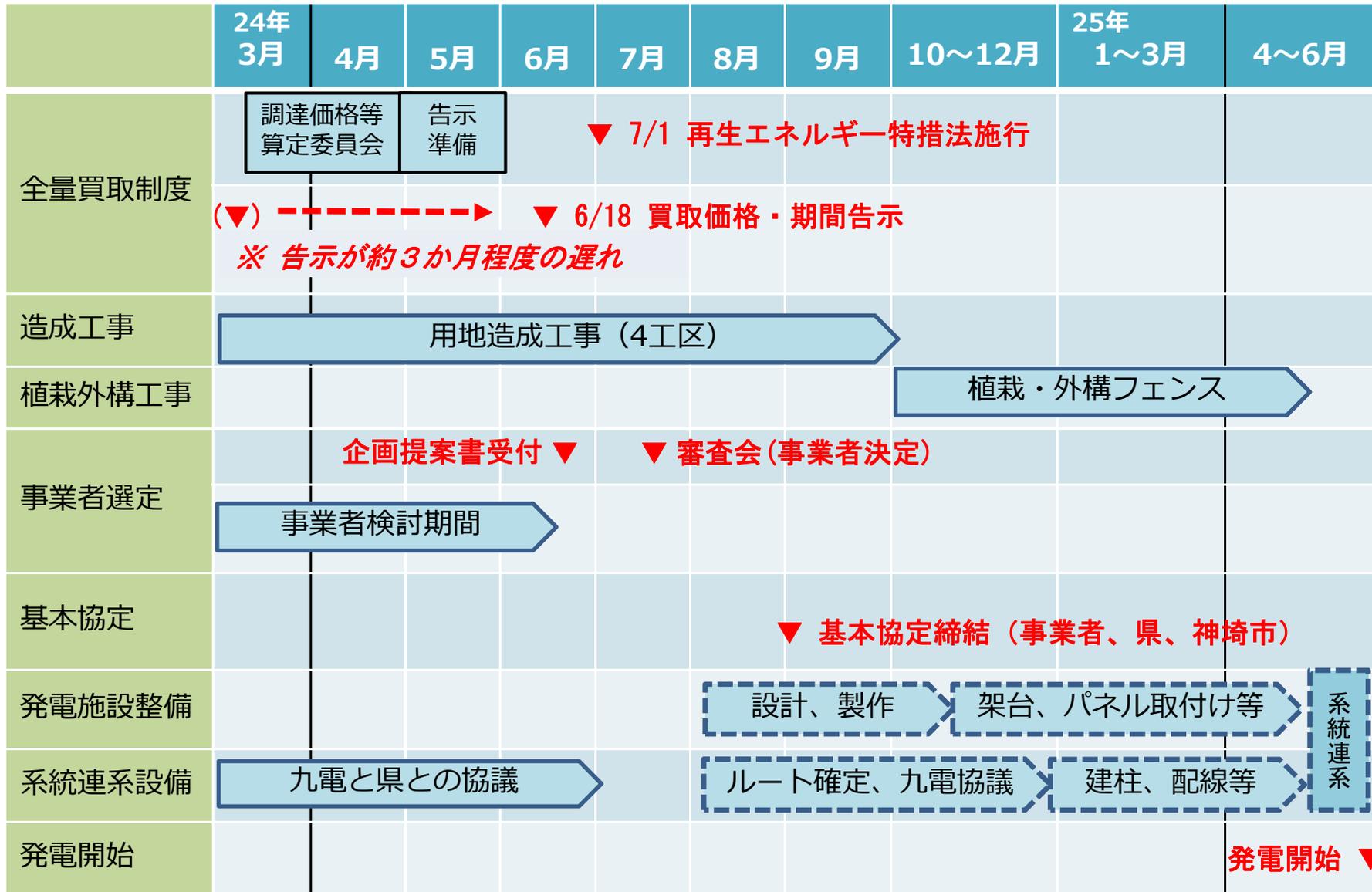
- 産総研九州センターの太陽電池モジュール信頼性評価研究等との連携による技術革新
- 同研究等との連携による太陽電池、蓄電池メーカー等関連産業・研究機関の立地促進

④ 環境学習

- 子どもたちの修学旅行や社会見学、環境教育の場としての活用
- 吉野ヶ里歴史公園等の連携による相乗効果



吉野ヶ里メガソーラー設置事業スケジュール



造成平面・標準断面図

吉野ヶ里メガソーラー造成平面図

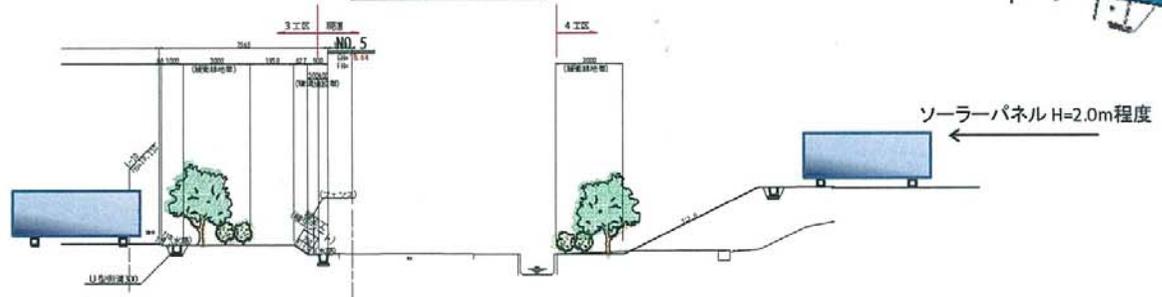
資料 1

造成有効(平坦部)面積 16.35ha
 多目的広場(平坦部)面積 1.05ha



凡 例	
	造成地
	水路
	緑地(植樹)
	フェンス
	既存緑地

標準断面図



事業者提案の審査項目

審査項目	主な審査内容
事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・発電出力規模（8MW以上） ・事業スケジュール ・経営計画（事業費、資金計画、役割分担等） ・事業期間終了後の原状回復
地元貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・県内企業の活用（設備設置、運営、維持管理） ・税収効果
地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・県内産業振興（地場企業育成、技術開発等） ・環境教育（見学施設設置、地元学校との連携） ・災害拠点の役割（停電時の電気供給など）
事業遂行	<ul style="list-style-type: none"> ・メガソーラー設置運営の実績 ・経営、事業運営能力
景観配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・パネルの高さ、架台設置方法、植栽緑化 ・吉野ヶ里歴史公園との共存共栄

選定された企業連合体の概要

	企業名	所在地	連合体での役割
代表 構成員	(株)NTTファシリ ティーズ	東京都	<ul style="list-style-type: none"> • 連合体の統括マネジメント • 資金調達（出資） • メガソーラーの企画・設計・建設 • 事業体の運営事務支援
構成員	(株)戸上電機製作所	佐賀市	<ul style="list-style-type: none"> • 建設（電気工事、サブ変電所設備製作） • 保守業務技術者講習会の主催
	(株)佐賀銀行	佐賀市	<ul style="list-style-type: none"> • 資金調達（融資）
	西日本電信電話(株) (NTT西日本)	大阪市	<ul style="list-style-type: none"> • ICTモニタリングシステム構築 • 環境教育支援 • 共同研究
	佐賀大学	佐賀市	<ul style="list-style-type: none"> • 地域への環境教育人材の提供 • 環境教育支援 • 共同研究

事業者選定の評価のポイント

- 地元企業との連携や、地域との交流や環境学習の実施など、事前調査が周到で、事業計画が非常に具体的できめ細かく、実現可能性が非常に高い点が評価できた。
- 景観配慮の面では、隠すばかりではなく、吉野ヶ里遺跡とメガソーラーという、過去と現在との調和が図れるような効果的な見せ方などに工夫を凝らしていた点を高く評価した。
- 地元地区のこともよく調査され、実行案として用意されていると感じた。これらの提案が実現されれば、吉野ヶ里遺跡周辺地域が栄えると感じた。
- 候補者の中で唯一、災害対応拠点という提案がなされていた。このようなきめ細かい配慮が、地元住民に安心を与えるという意味で高く評価できる。
- 資金調達の間でも、NTTファシリティーズという企業が、太陽光を含め環境事業に注力してきた実績により「環境格付」が与えられ、当該事業での超低金利融資につながっている。環境をビジネスとして考えるうえでの好例である。

＜事業者選定委員会＞ ※外部の有識者、学識経験者により構成

- | | |
|--------------|----------|
| ①太陽光発電技術の専門家 | ④文化財の専門家 |
| ②都市計画・景観の専門家 | ⑤地元代表 |
| ③財務会計の専門家 | |

造成工事前の現地（1）



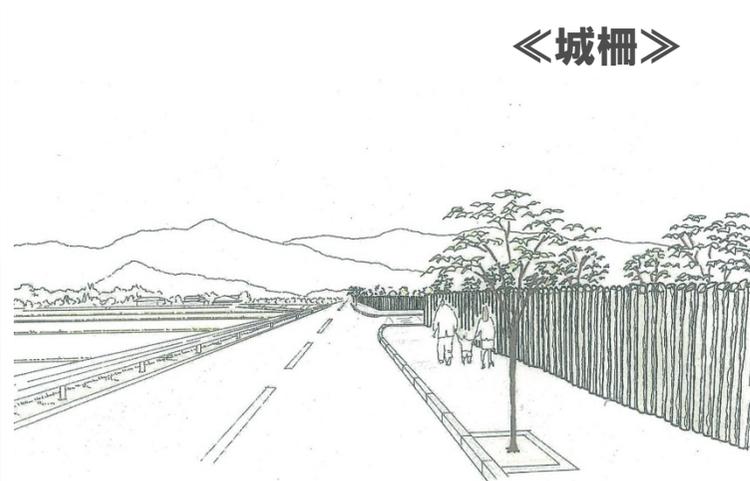
造成工事前の現地（２）



外構・植栽工事完了後



《城柵》



《植栽・フェンス》



パネル設置工事完了後



吉野ヶ里歴史公園 物見やぐらから撮影

